

2021年7月31日（土）15:00-18:00 @オンライン  
2021年度ジョイントセミナー  
日欧における学校制度の可能性と限界を考える

# オランダにおける早期離学の現状と課題 —移民の背景の有無に着目して—

見原礼子（同志社大学）

※本報告は以下の論考をもとに，更新データや新たな資料を加えたものです。

見原礼子（2021）「オランダにおける早期離学の現状と課題」園山大祐編『学校を離れる若者たち』ナカニシヤ出版，112-125頁。

# オランダの学校教育制度の概略

初等教育（Basisonderwijs）8年課程

⇒

①大学準備中等教育（VWO）6年課程→大学

②一般中等教育（HAVO）5年課程→高等専門教育

③職業訓練準備教育（VMBO）4年課程

VMBO-TL（理論）

VMBO-GL（混合）

VMBO-KB（マネージメント職業教育）

VMBO-BB（基礎職業教育）

→職業訓練教育（MBO）1～4年課程

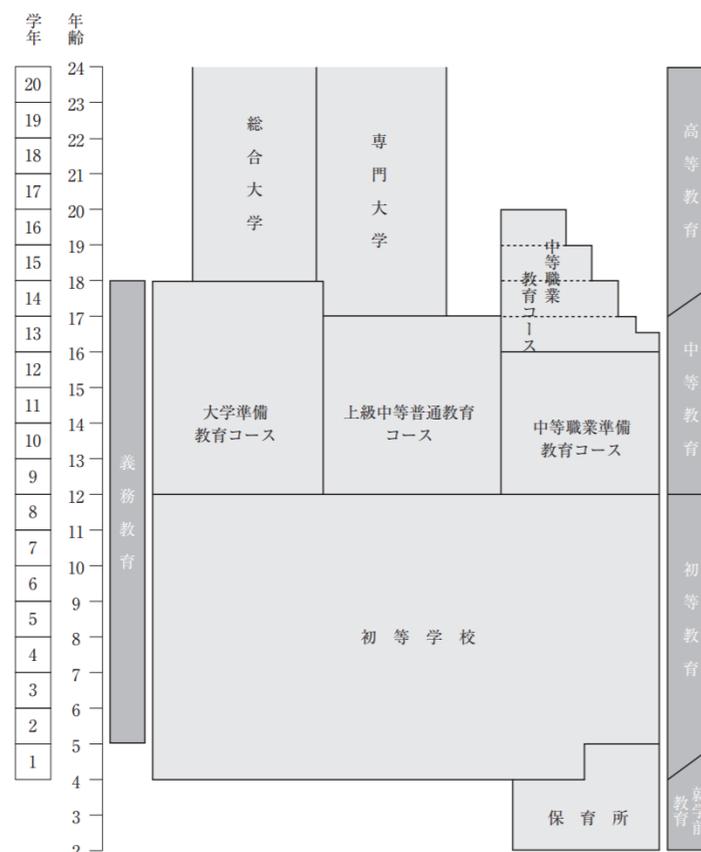
MBO-4（中間管理職養成）

MBO-3（職業訓練）

MBO-2（基礎職業訓練）

MBO-1（初級訓練）

V 学校系統図



文科省「学校系統図」

[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396864\\_011.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396864_011.pdf) (2021年7月30日最終閲覧)

# 基礎就業資格と早期離学者の定義

## 【基礎就業資格 (startkwalificatie)】

労働市場に出るための必要最低限の資格。少なくともMBOのレベル2 (MBO-2), HAVO, またはVWOを修了していることが条件。

## 【早期離学者 (voortijdig schoolverlaters) の定義】

**基礎就業資格を有することなく教育・訓練を受けていない12~23歳の若者 (2020年の新規早期離学者数は22,785人)**

⇒ 早期離学の多くが職業訓練教育課程のVMBOからMBOへの移行期 (特に低次のコースでの移行時) に発生 ← 対策の主たるターゲット

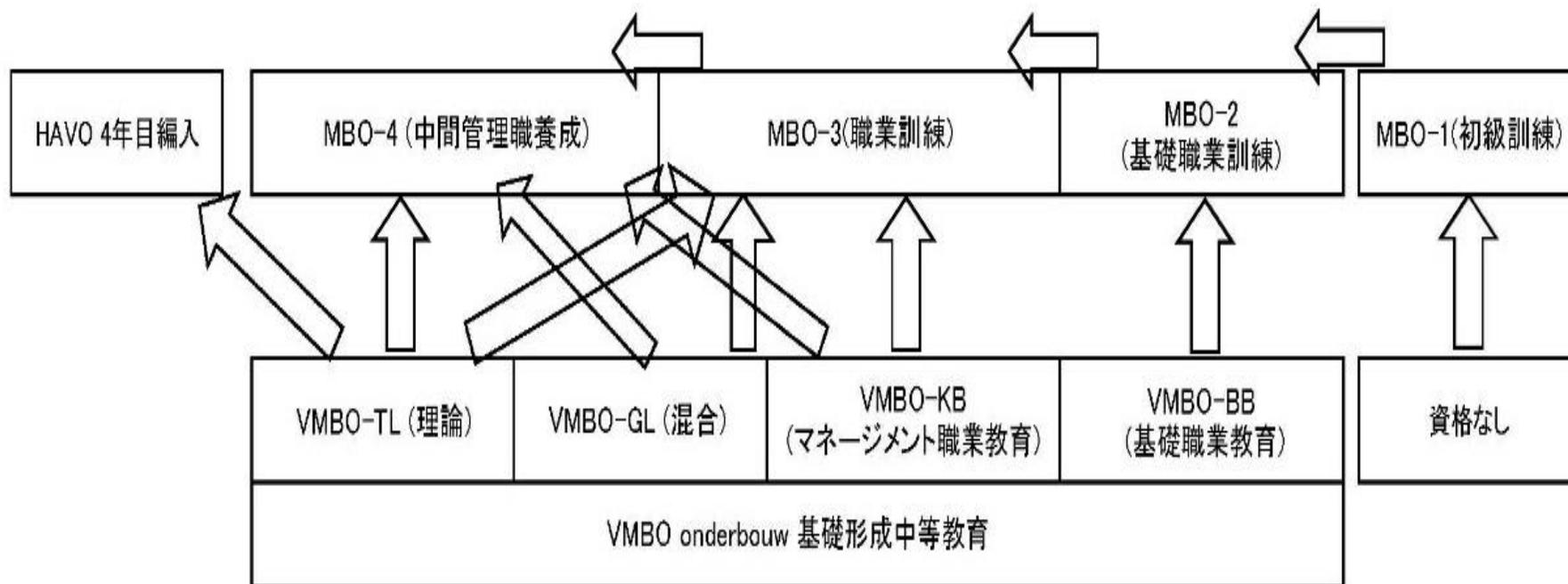
VI 取得可能な資格・学位



文科省「取得可能な資格・学位」

[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396864\\_011.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396864_011.pdf) (2021年7月30日最終閲覧)

図 1 . VMBOからMBOへの主な接続ルート の概略図



オランダ政府公式ウェブサイト (<https://www.rijksoverheid.nl/onderwerpen/middelbaar-beroepsonderwijs/opleidingen-niveaus-en-leerwegen-in-het-mbo>)などを参照の上、発表者作成



Administratief,  
Juridisch &  
Management Support

AANTAL OPLEIDINGEN  
25

MEER INFO >



Bouw, Infra &  
Onderhoud

AANTAL OPLEIDINGEN  
16

MEER INFO >



Creatief & Cultureel

AANTAL OPLEIDINGEN  
8

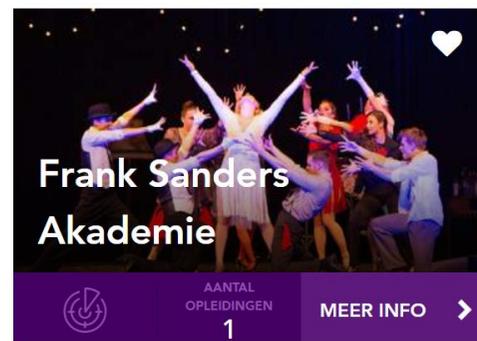
MEER INFO >



Elektro &  
Installatietechniek

AANTAL OPLEIDINGEN  
23

MEER INFO >



Frank Sanders  
Akademie

AANTAL OPLEIDINGEN  
1

MEER INFO >



Handel & Ondernemen

AANTAL OPLEIDINGEN  
37

MEER INFO >



Horeca, Bakkerij &  
Facilitair



ICT



International Studies

<https://www.rocva.nl>

# オランダにおける早期離学問題への対策

・EUの「欧州2020」戦略における早期離学率の引き下げに向けた数値目標を早々と達成し、さらなる引き下げを目指して努力してきた（直近の2020年における早期離学率：7.0%）

⇒国際比較の文脈においては、**EUの中でも早期離学率の引き下げが最も早く進んでいる国の一つ**として紹介される機会が多かった

[これまでの主たる対策]

・地域申告・調整機能（Regionale meld- en coördinatiefunctie: RMC）

⇒オランダ国内を39の教育区に分けて、各自治体が早期離学者の政策を実施できる枠組みを構築

⇒早期離学者との面談やコンサルテーションを通じて、個々の状況や資質に応じたオーダーメイド型のプログラムを組み立てることにより、復学や就職に向けた支援の提供

・基礎教育登録データベース（Basisregister Onderwijs: BRON）

⇒オランダの学校教育制度のもとで学ぶ生徒一人ひとりに対して教育番号（het onderwijsnummer）を発行・管理することにより、生徒一人ひとりの進路をトラッキングし、多様なアクター間で早期離学者を把握

・VMBOとMBOが協力し、MBO-2レベルまで一貫した教育コースとして一つの学校で提供するパイロットプロジェクトの展開

## 移民の背景をもつ生徒の早期離学

これまで早期離学のリスク要因を捉えようとする研究は数多くなされてきたが、そのうち**最も活発に議論されてきたテーマの一つが、移民の背景と早期離学の関係**であった（De Baat & Foolen 2012 : 1-6）

### [議論の前提]

- ・オランダにおける就学義務／義務教育（leerplicht）は国籍やオランダ滞在の法的根拠によらず、オランダに居住するすべての18歳未満の子どもに適用される。EU指令（The Reception Conditions Directive: 2013/33/EU）にもとづき、移民や難民申請者として入国したばかりの子どもの場合も、二か月以内にオランダの学校教育制度への接続が必要とされる。
- ・ただし早期離学の対策において移民の背景の有無が焦点化される傾向が強いのは、難民を中心としたニューカマーよりは第二世代を中心としたオールドカマー集団（トルコ系、モロッコ系、スリナム系、アンティル系）である。

# 移民の背景をもつ生徒の早期離学

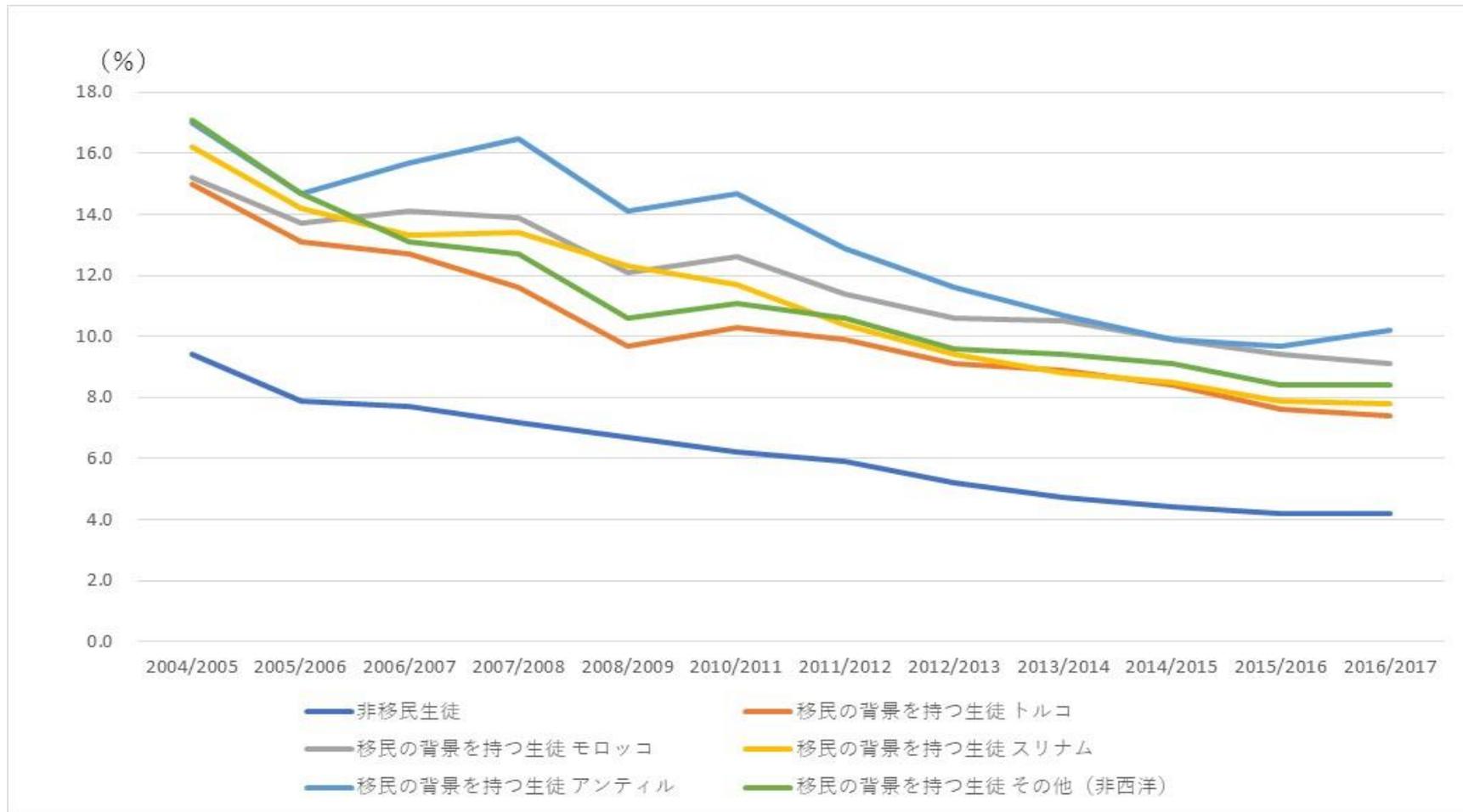
[明らかにされてきたこと]

- ・ 2000年代前半以降、移民の背景を持つ生徒と持たない生徒の間の早期離学率の差は縮まっているものの、現在に至るまでその差は顕著である。(図2)
- ・ ただし、保護者の学歴や社会階層など様々な要因を考慮すれば、移民の背景の有無による早期離学率の差はそれほど顕著でない(Steeg & Webbink 2006: 28-29, Traag & Velden 2008: 27)。だが同時に、このことは、移民の背景を持つ人びとの社会経済的状況が平均して厳しい立場に置かれているということをも意味する。( [参考] 2019年の失業率データ: 非移民2.6%, トルコ系5.4%, モロッコ系8%, スリナム系6.2%, アンティル系7.3%, その他非西欧6.1%)
- ・ そもそも移民の背景の有無による進路の違いは中等教育段階から生じている( [参考] 2018/2019年度の初等教育修了時にVWOまたはHAVO進学推薦を受けた生徒の割合: 非移民58%, トルコ系39%, モロッコ系45%, スリナム系45%, アンティル系34%, 51%)

**⇒ 移民の背景を持つ生徒の早期離学をめぐる課題は、中等教育段階でかれらを低次の職業訓練課程へと振り向けるオランダの学校教育制度とも深くかかわっている。**

⇒ ただし現在では、ニューカマーの子どもを対象とした取り組みなど一部の例外を除き、移民の背景の有無を根拠とした教育政策は展開されていない。

図2 MBOからの早期離学率の推移（移民の背景の有無および出身別）



Centraal Bureau voor de Statistiek 2020 : 63を参照の上，発表者作成

注1) 2012/2013年度以後は義務教育の対象除外となっている生徒は早期離学のデータから除外されている。

# 今後の議論の焦点

## ■すべての若者を「包摂」するために

ケア、教育、および労働の領域とRMCとの調整のなかで、すべての若者たちを包摂するための包括的な地域の「セーフティネット」をいかにして効率的に提供できるかが重要な政策課題として認識されている。職業訓練系の普通教育課程（VMBOからMBO）全般の若者へのターゲットから、より脆弱な立場にある特別のケアを必要とする若者（jongeren in een kwetsbare positie: JIKP）にターゲットを焦点化し、支援を強化しつつある。2019年にフォローアップ・アプローチ（vervolgaanpak）として法制化された。

## ■教育制度の抜本的な改革に向けた議論

オランダ教育審議会（Onderwijsraad）は2019年にまとめた提言の中で、早期分岐型の教育制度が社会の分断を生み出し、平等な教育機会の提供を妨げているとして、抜本的な制度改革の必要性を提言。その「出発点」として、制度の分岐と差異化を必要に応じて減少させることや、異なる学校種やプログラム間の連携や協力関係の構築などが含まれていた。

# 引用文献一覽

- Centraal Bureau voor de Statistiek (2020), *Jaarrapport Integratie 2020*, Den Haag/Heerlen/Bonaire: CBS.
- De Baat, M. & Foolen, N. (2012) *Risicofactoren bij schoolverzuim en voortijdig schoolverlaten*, Nederlands Jeugd Instituut.
- Gaag, M. van der, Snell, N., Bron, G., Emerencia, A., Blaauw, F., Heemskerk, I., Petit, R., Kunnen, S., and Jonge, P. de (2018) *Voortgangsonderzoek: aanpak van voortijdig schoolverlaten en jongeren in een kwetsbare positie (eindrapport)*. Groningen: Rijksuniversiteit Groningen.
- Ministerie van onderwijs, cultuur, en wetenschap (2020) *Informatiedocument onderwijs aan asielzoekerskinderen*, Den Haag: OCW
- Onderwijsraad (2019) *Doorgeschoten differentiatie in het onderwijsstelsel: Stand van educatief Nederland 2019*, Den Haag: Onderwijsraad.
- Steeg, Marc van der & Webbink, D. (2006) *Voortijdig schoolverlaten in Nederland: omvang, beleid en resultaten*, Den Haag: Centraal Planbureau.
- Traag, T., & Velden, R.K.W. van der (2008) *Early School-Leaving in the Netherlands: The Role of Student, Family and School Factors for Early School-Leaving in Lower Secondary Education*, Maastricht: Research Centre for Education and the Labour Market.